

## 大阪府内の宿泊療養施設に関する報道について

大阪府に宿泊療養施設として一棟貸しを行っているホテルに関して、アパホテルがあたかも不当な利益を得ていたとの印象を与えるかのような、さらに、清掃についても悪質な手抜きがあったかのような記事が掲載されました。

今般の報道内容について、大阪府には弊社との契約上の問題点はないと確認しております。

また、報道によると2021年4月～2022年3月末の期間における、大阪府から宿泊療養用ホテルへの経費支出の計272億円中、40億7,720万円がアパホテルへの支出とあり、「突出した額」との指摘がございました。

上記アパホテルへの支出額とされる数字は、比率にいたしますと15.0%となります。一方、大阪府が確保している宿泊療養施設の室数は、大阪府の報道発表によると3月13日時点で11,477室となっております。うち2,671室がアパホテルであり、室数比率は23.3%です。従って、お貸し出ししている室数が多いため経費支出の総額も多くなっているのであって、法外な単価で経費を請求しているというわけではありません。お貸し出ししている室数が多いのは、弊社ホテルの立地や規模、提供までに要する期間などの諸事情が大阪府のニーズと合致していたためと認識しております。

提供中の食事については現場の看護師によるチェックが毎日行われているほか、弊社が提出した報告書も大阪府によって毎月検査を受けており、適正な水準の食事を提供しているものと考えております。

また、入所者の健康状態や嗜好も多様であり、ご滞在中にご意見・ご要望を頂くこともありますので、その際は関係者と日々協議しながら改善に努めております。

また、清掃の不備に関しまして、ご迷惑をおかけした方につきましては大変申し訳ございませんでした。清掃に関しましては、退所の後には必ず消毒及び清掃を入れております。しかしながら、閉所していたホテルが急遽受け入れとなった際や、使用後の客室の清掃の際に防護服を着て清掃業務を行うことから、清掃の不備については1施設につき月に数件程度のご指摘をいただいておりますが、清掃会社と協議しながら改善に努めてまいりました。

ごみの回収・管理が杜撰との指摘に関しましては、大阪府と契約しているアパホテルの療養施設9棟におきまして、客室等のレッドゾーンで排出されたごみは感染性廃棄物として館内にて適正に専用ペール缶で密閉、保管しております。回収時には回収個数の確認も行われております。感染性廃棄物取り扱い業者に回収後の運搬、処分は適正に実施されていることを確認しております。

上記のように、弊社として至らぬ点があったことに対しては真摯に受け止め改善してまいりましたが、あたかも不当な利得を得ていたり、悪質な手抜き業務を行っていたかのような印象を与える報道は、業務に当たる従業員や協力いただいている取引先を深く傷つけるものであり、受け入れることはできません。

従って、皆様には事実をご理解いただけますよう、弊社の見解を述べさせていただきます。